

泗水図書館 **2** 0968 (38) 6866

中央公民館図書室 20968 (25) 1672 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580

旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111 内線 303

司書のつぶやき

寒さも和らぎ過ごしやすい気候 になりましたね♪

桜が咲いたら菊池公園にお花見 に行きたいな~ ごぼう

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日

七城公民館図書室 日曜日・祝日 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ http://www.kikuchi-lib.jp/



新着・お薦め図書

泗水図書館

谷崎潤一郎 葉室 麟 谷崎潤一郎の恋文 著 影踏み鬼 著 アリス・マンロー 愛の深まり 著 小野芷嗣 九年前の祈り 著 并決荒彦 著 逆説の日本史 21 中村修二 著 負けてたまるか! 注声抓託歩 著 少年探偵 全 26 巻 ソーニャ・ダノウスキ はじまりのはな

中央公民館

小齿剃荇 伝わっているか? 著 酒井順子 著 女を観る歌舞伎 武曲双雲 パートナーにイラッとしたとき読む本 著 田丸雅智 著 遠野物語拾遺 retold 京極夏彦 著 なぜ?どうして?理科のふしぎ 森田和良 監修 はじめはタマゴ ローラ・ヴァッカロ・シーガー 作

七城公民館図書室

細川並衣 著 スープ 若杉 冽 東京ブラックアウト 著 斉藤栄美 作 妖精のパン屋さん なんのじゅうたい? オームラトモコ 旭志公民館図書室 白鶴ノ紅 居眠り磐音江戸双紙 48 著

ぼくらの七日間戦争



僕がおすすめする本は「ぼく らの七日間戦争」という本で す。この本は、中学1年生たち の内容は、ある日、1年2組の 男子全員が姿を消してしまいま

(泗水中1年)

中野光太郎さん す。実は、主人公の菊池英治と その親友、相原徹を中心とし、

子どもだけの「解放区」を廃工場につくり、大人や 警察とたたかおうとしたのです。そして、次々にワ ナをつくり、校長先生を退治したり、保護者たちを 追いはらったりして大人とたたかう、というような 内容です。

なぜ僕がこの本を選んだのかというと、1年2組 の生徒が、毎回おもしろいことをして、大人をおど ろかせるからです。しかも、同じ中学一年生をモデ ルとしているので、親近感が持てるからです。この 本を読むと、思わず「すごいなあ」と感心してしま います。誰が読んでもおもしろいと思います。

いろいろバス

期間 3月15日(日)~4月15日(水)

ところ 市内図書館(室)

ぽっと心に明かりがともる 28 の物語

くろくまくんのパンケーキ



世界に1つしかない桜の形 をした絵本を展示します。 ぜひ見に来てください。

护井俊克

ツペラツペラ 作

小林ゆき子 作・絵

著

住所や氏名が変わったときは 手続きが必要です!

用意するもの

- 図書館利用カード
- 新しい住所や氏名が確認できるもの



●図書館(室)窓口へお知らせください

- 住所・氏名・電話番号が変わったとき
- 市外に転出の場合で市内に通勤・通学していないときは 図書館利用カードを返却してください。 ご協力をよろしくお願いします。

るかと孫より電話敬老の日に貰いしば 起ききらん 手書き 記念写真 な手ん書 面白ェ 初詣 損得 真に受け 無理は承知 っぱり き め の賀状 \mathcal{O} き 賀状 美酒て褒めらす燗冷ま 段 て 老舗の の無ァ 61 何時 目覚まし 生恩に -たモンゴ: 羊だろう 生きてるぞ し防寒着着こなし 美人の 宮が 味は落とされ も損するこつ 狩野・ ^え え **続** 61 井手 池田 山か 上村 ル場所だ 犬だ 隈 つて印さ カッ子 本た繁ん六美 ば 子 善教 好る水光 っ子か の目穏やか 今日は小春日一年開けて自力で出入りする猫のそけたる誇りかみしむ 松本 幾代市民劇の観劇終えてこの里に生を受

除夜の

瞳聞いて卒寿の感あら

た

数恵

自然界酷寒の

美や古閑の瀧

年長児孫の

初賀状

藤本ア

グツ子

国

0

手に破魔矢

寺本

五丁

義昭

百年

0

生涯

越ゆ

る初御空

ばす **林 まつ子** い交ふ鳥たちに今朝も 俊を **怒留湯健蓉**

冬耕に無くせし楔現る

縁先に爪切る音や日向ぼこ

芹川

蓉子

水谷

綾取

0

 σ

小

さき手動くぎこちなさ

中尾ヨシコ

てくる 岩本サヨ子 薫りの深く沁み騒ぐこ して餅を焼く待ち 宮本 淑子 淑子 打ちする声弾ませて 岩永暗闇の庭に入り来て村の子は

安見

里に生を受

便また

のごときを夕べに拾ふ

h

 \mathcal{O}

もぐら

則子

ぐ顔ら

合う似合うと服の後ろ向き前向き収 をいただく部2窓に雪舞ひいる 山をら間 ・ る元朝う 服の囁き 岩崎 照代き似合うか服に問う似 灰出せの がざらざる朝の て 草削り -| | (る朝の | | (な) か る らどち屠蘇 緒方 庭そちこ 寛子

後ろ

枝先に紅の仄見ゆ春隣

加藤

妙子

やり

初詣父母眠る菩提寺

曼しば

らく

山

を離

れざる

霜きび

し大地の穢れ浄め

芹け

削り

0

ŋ

子

ち阿蘇のお洗濯物干は

火*す 踊 株

田野 岸中

房公子 枝

天帝を垣間見せつ

ゝ冬の空

妙子

吹く風の

のやさしさにあふ枯尾ボ 平山

邦子

マ 重弘

21 | 広報きくち | 2015 March | *分*